

第73回全国植樹祭岩手県準備委員会（第4回）議事概要

●日 時：令和元年5月31日（金）13:30～14:30

●場 所：サンセール盛岡1階「エメラルドホール」

●出席者：出席者名簿のとおり

●議事内容

1 報告

(1) 第73回全国植樹祭岩手県準備委員会（第3回）の概要について

- ・事務局が資料により説明。

2 協議

(1) 基本構想（素案）に対する委員からの意見とその対応（案）について

- ・事務局が資料により説明。

(2) 基本構想（案）について

- ・事務局が資料により説明。
- ・委員からの意見及び質疑応答は別紙のとおり。
- ・協議の結果、原案のとおり了承された。（ただし、この後に協議する「式典会場開催候補地」を除く。）

(3) 開催候補地の選定について

ア 評価基準等について

- ・事務局が資料により説明。

イ 応募自治体の評価（案）について

- ・事務局が資料により説明。
- ・委員からの意見等の内容は別紙のとおり。
- ・協議の結果、開催候補地を「陸前高田市」とし、基本構想における「式典会場候補地」を「高田松原津波復興祈念公園（陸前高田市気仙町）」とすることで了承された。

(4) その他

各委員からの意見及び質疑応答

議題(2) 基本構想(案)について

(委員)

基本構想(案) 4ページに、「東日本大震災津波から8年が経過した」とあるが、全国植樹祭開催年で考えると、「11年が経過した」となるのでは。

(議長)

基本構想の文書日付は、本日付けとなる。

(委員)

了解した。

(委員)

基本構想(案) 3ページに、「ものづくり産業を支える工業用水」とあるが、工業用水の他にも例えば、本県の伝統ある酒造りの基本となっている水や、近年ではペットボトルのミネラルウォーターも現在数箇所生産、販売されているなどの事例もある。文書をこうすべきだと申し上げるわけではないが、一つの参考として申し上げたい。

(議長)

この箇所は表現をいろいろと工夫しており、「ものづくり」というところには当然酒造りも含まれており、かつての地場産業ということである。「工業用水にも広く利用される」の「も」が上記を表現すると思う。

(委員)

了解した。

議題(3) 開催候補地の選定について

(委員)

資料 4-1 別表に、「VIP の宿泊の実績があること」とあるが、何の実績のことか。

(事務局)

天皇陛下と皇族の方々の宿泊実績である。

(委員)

そうすると、県内の宿泊施設から会場まで 90 キロ圏内であればよいということか。

(事務局)

そのとおりである。

(委員)

それでは応募のあった自治体はすべてクリアしているということか。

(事務局)

そのとおりである。

(委員)

危機管理について、陸前高田市では危機管理としての避難道路が整備をされているということであるが、それは津波などを想定した避難道路か。また、避難する場所は、何千人もの人が入れるような場所なのか。そのへんのところを検討したうえで危機管理の確保はできているということか。

(事務局)

陸前高田市にも確認済であるが、既に堤防も整備され、会場も過去の地面よりも高い場所に造成されている。さらに、そこから山手のほうに向かって避難道路がしっかり整備されていることなども確認している。